

第6回 SPICA 研究推進委員会

2020年4月17日 13:00-16:00 zoom 会議

出席者: (推進委) 長尾、江草、田村、安部、福田、今西、高田、百瀬、野村、杉田、本原、上田
(プロジェクト) 尾中、山田、山村、金田、松原、山岸

1. 前回会議の議事録確認

- 修正意見は無く、議事録を確定させた。

2. プロジェクト進捗報告 (山村、松原、金田)

- 冷却性能の変更に関連して、感度には影響があるか?
 - ◇ 感度への影響はないと思われる。運用モードを見直すことで影響を回避できる
- 運用モードの見直しとは具体的にどのようなものか?
 - ◇ 観測効率が少し下がる可能性がある
- 以前、冷凍機の長寿命化の話があったが、新しい情報はあるか?
 - ◇ 新しい情報は無い。JT 冷凍機は5年もつ実証がされている。2段スターリングサイクルの冷凍機は5年保証できるかまだ不明
- SMI 補足: HR の仕様変更が検討されている。波長分解能 $R=32,000 \rightarrow 29,000$ 、波長範囲 $12 \mu\text{m} \rightarrow 9.7 \mu\text{m}$
- スケジュールでは MCR と同時期に JAXA 内レビューがあるが、どのようなものか?
 - ◇ 現在、レビュー実施時期・内容について、JAXA 内で調整している

3. 報告: SPICA 関係会合 (尾中)

- SST テレコン, 第5回会議 (1/08-09)
 - ◇ 観測後のデータ専有期間について
 - 専有期間が短いのは、日本側にはあまり有利ではない
 - Spitzer, Herschel では、パイプラインを作るまでに時間がかかっていた印象がある
 - 国内に GTO に関わっていない人が多くいれば、早めに公開されるのは悪くはないのでは
 - 誰が GTO に参加できるかはまだ決まっていない。基本的には装置コンソーシアムの人とサイエンスチームのコアとなる人
 - 今後の研究推進委員会でも継続的に議論する。
 - ◇ SAFARI 波長範囲変更について
 - 補足: long, very long channel (波長 $80-230 \mu\text{m}$) はアメリカによって製作される予定だった。応募していた NASA 資金が不採択となり、現在これに代わる資金は無い状況 (サイエンスは評価されたが、国際情勢も考慮したうえでの判断)。サイエンスを落とさずに仕様変更する案が検討されている
 - 現在の波長範囲 は $34-230 \mu\text{m}$ 。短波長側は SMI と被るようになっている。仕様変更があっても、波長 $210 \mu\text{m}$ まではカバーできるだろう

- 近傍銀河班としては、[NII] 205 μm がカバーされることが大事なので、波長 210 μm まであればよい
- CO (12-11) @ 216 μm などもある
- 円盤サイエンスでは、high-J CO はターゲットに入っているが、特定の輝線に着目しているわけではないので、もし波長範囲から外れてもクリティカルではない
- ◇ 委員から出た SciRD レビューコメントは尾中さんに送付済
- collaboration 会議 (3/09-11)
 - ◇ 系外惑星セッションでは平野さんリードで検討内容が発表されていた
 - ◇ High-z 銀河セッションには班長の泉さんに参加して頂いた

4. 報告: SPICA サイエンス検討会 (長尾)

- 検討状況報告
 - ◇ 報告書の現状案に対するコメントがあればお送りください
- 天文学会春季年会企画セッション (中止)
- 天文月報特集の検討
 - ◇ プロジェクト的には、天文月報の時期は 11 月、12 月で良いか？
 - 適当だろう
 - ◇ 7 月初旬までにプロジェクト側が書く記事(巻頭言、SMI 記事)を準備することになるが、スケジュールは大丈夫か？
 - MCR が 7 月初旬だが、日程が決まれば間に合うように準備する
 - ◇ 巻頭言は誰が書くべきか？
 - ◇ 検討記事の執筆者は？
 - 検討記事は、班長 + α で書く

5. 議論

- SPICA サイエンスニュースレター (山村)
 - ◇ プロジェクト発行の既存のニュースレターと複数発行するということか？
 - 研究推進委員会発行のもの(ユーザー視点)がメインになる。プロジェクト側も発行を支援する
 - ◇ TMT ニュースレターのようなものを想定している？
 - そのあたりも含めて議論を
 - TMT は TMT プロジェクト室が発行している。すばるは SAC が発行
 - ◇ ALMA は伊王野さんのとりまとめで、SAC が議事の項目を流している
 - ◇ Suzaku ではユーザー側から何か流れたことはない
 - ◇ 受け取るユーザーにとって何が有益かを考える必要がある
 - ◇ 研究推進委員会発で、サイエンスに直結した情報に重きを置いてコミュニティーにお知らせする。研究推進委員会での報告内容に基づいて、議事録を活用して作成する。
 - ◇ SKA Japan のニュースレターが建設期のニュースレター例として参考になる

- ◇ プロジェクト発の SPICA ニュースレターはどこ宛てに流している？
 - GOPIRA + TENNET?
 - OML には流れていない
- ◇ 初回は、GOPIRA, RYUNET, OML 宛てに流すことにする。今後、あて先は適宜検討する。
- ◇ 今回から、議事録はメールベースで確認し、早期に確定させることにする。
- SPICA 出版費補助 (山村)
 - ◇ オープンアクセス費は対象外になっているが、オープンアクセス費だけを別予算で払うことは可能か？
 - 出版費などと請求書が分かれば、事務的には処理できる
 - ◇ SPICA に関する議論が少しでも入っていればよいか？
 - サイエンス検討班メンバーが著者 (共著でも可) に入っていて、SPICA に言及されていけば関連論文として広く認める方針
- 関連研究会リストアップと対応の検討
 - ◇ 理論懇 (12 月) 招待講演: 金田
 - ◇ サブミリ波単一鏡研究会 2021 年 3 月 29-31 日@天文台三鷹 (世話人: 古屋さん)
- 研究推進委員会の改選 (山田)
 - ◇ 半数改選を想定している (再任あり)。案としては、光赤天連と宇電懇に 3-6 人の推薦をお願いする
 - ◇ 惑星関係の人に関わって頂くにはどうしたらよいか？
 - 惑星分野には宇電懇のようなコミュニティはなく、大きな議論は学会を基盤にやっている
 - 就任依頼とは別なので、必ずしも推薦依頼先が分野を網羅している必要はない
 - ◇ 前回は踏襲して、宇電懇、光赤天連に推薦依頼を出すことにする。

6. その他

- 次回会議の日程など
 - ◇ MCR のあと、7 月中旬～下旬で調整する。